

地域密着型コンビニ「もっけ」

C1222548

田頭 一樹

新しいコンビニ「もっけ」の提案

① 共感

－観察・体験の実施方法と結果－

- 観察方法：現在の「もっけ」での利用者の行動を観察。特に、利用者がどのような商品を選んでいるか、どの時間帯に混雑するかに注目。
- 体験方法：自身も利用者として「もっけ」を利用し、実際の体験から問題点を把握。

－観察・体験の結果－

- 利用者の多くは昼食時に「もっけ」を利用していることがわかった。この時間帯は特に混雑しやすく、レジの待ち時間が長くなる場合がある。
- 特定の商品が売り切れていることがあり、利用者が不便さを感じる場面があった。特に、人気のある弁当やスナック類は早い時間に売り切れてしまうことが多い。
- 学業や課外活動で忙しい学生たちは、短時間で効率的に買い物を済ませたいと感じているように思えた。時間を節約しつつ必要なものを手に入れたいというニーズがもっとも大きいと感じた。

② 課題定義

－顕在的ニーズ－

- 商品の品揃えの充実
- 時間の有効活用

－潜在的ニーズ－

- 地元特産品の取り扱い
- 利用者がくつろげるスペースの提供

－課題－

- 利用者は効率的でストレスのない買い物や他のコンビニにはないような商品を求めている。これらのニーズを満たす新しいコンビニ「もっけ」を提案する。



図：ヤマザキショップ東北公益文科大学店「もっけ」

地域密着型コンビニ「もっけ」

C1222548

田頭 一樹

③ プロトタイプの提案

ーコンセプトー

- 便利さと快適さを提供しながら、他のコンビニにはない独自性を持つコンビニ「もっけ」

ープロダクトー

- 地域特産品コーナーの設置。
 - 地元の特産品や手作りの食品を取り扱うコーナーを設置。
 - 季節ごとの特産品フェアを開催。例えば、春には地元の山菜やフルーツ、夏には地元産の海産物や野菜などを販売する。
 - 地元の生産者とのコラボレーションイベントを企画し、利用者に直接生産者と交流する機会を提供。これにより、商品の魅力をより深く知ることができる。
- 品揃えの充実
 - 人気商品やリクエストの多い商品の在庫を増やし、品切れを防ぐ。特に、学生や職員に人気のある商品を優先的に取り揃える。
 - 学生や職員からのフィードバックを元に、商品のラインナップを定期的に見直す。例えば、毎月フィードバックボックスを設置し、利用者の声を反映する仕組みをつくる。
 - 新商品の試食イベントやアンケートを実施し、利用者の嗜好をタイムリーに把握することで、より魅力的な商品を提供する。

④ 期待される効果

ー満足度の向上ー

- 地域特産品や手作りの食品の取り扱いにより、利用者の満足度が向上する。地元の味や新鮮な食品が手に入ることで、利用者の買い物がより充実したものとなる。
- 品揃えの充実により、必要な商品を確実に手に入れることができる。これにより、買い物際のストレスが軽減され、利用者の満足度が高まる。

ー地域への貢献ー

- 地元の生産者と利用者との交流イベントを通じて、地域の魅力を発信することができ、地域コミュニティの一体感を高めることが期待される。

地域密着型コンビニ「もっけ」

C1222548

田頭 一樹

参考

JIMU.東北公益文科大学同窓会.ヤマザキショップ「もっけ」のご紹介.更新日 2010 年 5 月 31 日. <https://www.koshokai.org/k-window/458.html>.閲覧日 2024 年 6 月 11 日